

資格課程

本学では、学芸員資格や中学校・高等学校教諭一種免許状(美術)を取得することができます。いずれも卒業までに、所定単位を修得することが必須となりますが、資格課程で修得した単位は、卒業要件の「その他」として認められます。

※芸術教養学科では教職課程は履修できません。

博物館学芸員課程 (全コース対象)

本学通信教育部では、学芸員の資格を取得することが可能です。

学部生

博物館学芸員課程(学部生)では、大きくわけて「1. 博物館法施行規則に定める科目(全コース共通)」「2. 関連科目」群の単位の修得が必要です。

資格取得に必要な履修単位数

履修科目	必修単位数	選択必修単位数
1. 博物館法施行規則に定める科目(全コース共通)	19単位	0単位
2. 関連科目	0単位	10単位
履修科目単位数合計	29単位	

資格取得に必要な履修科目

TR テキストレポート科目
 S スクーリング科目
 WS Webスクーリング科目
 必 必修科目
 選必 選択必修科目
 選 選択科目

※下記でご紹介する科目は2018年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

1. 博物館法施行規則に定める科目(必修)

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
博物館概論	TR	必	2	有	博物館の歴史や種類、ならびに現代における博物館の存在意義について学びます。
博物館経営論	TR	必	2	有	博物館の運営について、経営的な視点から学びます。
博物館資料論	TR	必	2	有	博物館における資料の収集・整理・研究・還元という一連の流れを理解し、資料の効果的な活用について学びます。
博物館生涯学習概論	TR	必	2	有	生涯学習における博物館の役割について学びます。
博物館情報・メディア論	TR	必	2	有	博物館が発信する情報とメディアの変遷を理解し、デジタル化する社会の中でのその活用の利点と問題点について学びます。
博物館教育論	TR	必	2	有	社会教育機関としての博物館の教育活動の理論と実践を理解し、博物館の教育機能について学びます。
博物館実習1 (事前指導)	S	必	1		館園実習に先立ち、博物館の仕組みと全体像を理解し、その上で、美術品の取り扱いを通じ、学芸員としての基本的な心得を学びます。
博物館実習2 (館園実習)	S	必	1		学芸員の仕事を実地で学びます。
博物館実習3 (事後指導)	S	必	1		見学実習を行い、グループワークを通じて博物館の未来に対する洞察力を養います。
博物館資料保存論	TR	必	2	有	展示による資料の劣化を防ぐために、なおかつ良好な状態で後世に伝えてゆくために、博物館が行っている資料保存をめぐる環境整備について学びます。
博物館展示論	TR	必	2	有	展示の形態、展示メディアの種類、展示を通じての教育活動について理解し、展示を多角的に学びます。

※学習用Webサイト「airU」を利用するためインターネット接続環境が整ったパソコンが必要になります。

2. 関連科目

分野	科目名	科目区分	S/T区分	単位数	単位修得試験	必/選
文化史	日本文化論※❶	総合教育科目	◆TR	2	有	選必 いずれか1科目必修
	ヨーロッパ文化論※❶		◆TR	2	有	
	文化研究2		◆TR	2	有	
美術史	芸術史講義(日本)1	学部共通専門教育科目	WS	2	—	A 選必 A・Bどちらかの区分を選択し、 選択した区分から いずれか2科目必修
	芸術史講義(日本)2		WS	2	—	
	芸術史講義(ヨーロッパ)1		WS	2	—	
	芸術史講義(ヨーロッパ)2		WS	2	—	
	芸術史講義(アジア)1		WS	2	—	
	芸術史講義(アジア)2		WS	2	—	
	芸術史講義(近現代)1		WS	2	—	
	芸術史講義(近現代)2		WS	2	—	
	美術史(日本)1	学部共通専門教育科目	◆TR	2	有	B※❶ 選必 A・Bどちらかの区分を選択し、 選択した区分から いずれか2科目必修
	美術史(日本)2		◆TR	2	有	
	美術史(ヨーロッパ)1		◆TR	2	有	
	美術史(ヨーロッパ)2		◆TR	2	有	
	美術史(アジア)1		◆TR	2	有	
	美術史(アジア)2		◆TR	2	有	
	美術史(近現代)1		◆TR	2	有	
	美術史(近現代)2		◆TR	2	有	
	考古学	列島考古学	総合教育科目	◆TR	2	有
民俗学	文化研究1	総合教育科目	◆TR	2	有	必
必要単位数合計				10		

※❶ 芸術教養学科の方は履修できません。

※学習用Webサイト「airU」を利用するためインターネット接続環境が整ったパソコンが必要になります。

教職課程

(芸術学科・美術科・デザイン科対象)

通信教育部では、各コースの学習に加えて、中学校・高等学校教諭一種免許状(美術)を取得することが可能です。

教職課程では、大きくわけて「1、教職に関する科目」「2、免許法施行規則第66条の6に関する科目」「3、教科に関する科目」の単位の修得が必要です。

免許状取得に必要な単位数

履修科目		必修単位数	選択必修単位数
1、教職に関する科目(芸術学科・美術科・デザイン科共通)		31単位	0単位
2、免許法施行規則第66条の6に関する科目		10単位	0単位
3、教科に関する科目	●芸術学コース	26単位	4単位
	●歴史遺産コース ●文芸コース ●和の伝統文化コース	34単位	0単位
	●日本画コース ●洋画コース ●陶芸コース ●染織コース ●写真コース ●情報デザインコース ●建築デザインコース ●ランドスケープデザインコース ●空間演出デザインコース	26単位	4単位
合計		71～75単位	

※法改正により、履修する科目・単位数が追加・変更になる場合があります。

※「必修」「選択必修」は教員免許状取得上の要件です。

免許状取得に必要な履修科目

TR テキストレポート科目
 S スケーリング科目
 必 必修科目
 選必 選択必修科目
 選 選択科目

※下記で紹介する科目は2018年度のもので、変更する場合があります。ご参考までにご覧ください。

1、教職に関する科目(全科目必修)

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
教師論	TR	必	2	有	教職の意義および教員の役割、教育の職務内容を学ぶことを通して、教師とはどのような人で、何が必要なのかについて考える。
教育原理	TR	必	2	有	教育がどのような目的や意義を持ち、そして教育がどのような変遷を経て現在のよう形になったのかといった教育の原理を学ぶ。
教育心理学	TR	必	2	有	よりよい教育を、より効果的に行うために、教育の対象である児童・生徒がどのような特性を持っているかについて心理学的に学習する。
教育制度論	TR	必	2	有	学校制度を中心とした日本での教育制度について学習するとともに、現在どのような教育制度があるのか、そうした教育制度がわれわれの生活とどのように関わっているのかについて学習をする。
教育課程論	TR	必	2	有	教育課程とは各学校の教育計画のことである。この計画が学校間で大きく違わないように学習指導要領という基準がある。この教育課程の外面的な性質を前提に、教育課程の内的な性質を考察していく。

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
美術科教育法Ⅰ	TR	必	2	有	美術科で行われる教育が、学校教育において担う役割、すなわち生徒の感性を磨き、創造力を豊かにし、創造性を高め、自主性を育て、表現力を身につけるといった意義を踏まえて、中学校、高等学校の美術科の教育法について研究する。
美術科教育法Ⅱ	S	必	2		美術科教育法Ⅰの学習内容を踏まえ、中学校、高等学校の美術科の学習を通して、授業実践のための知識や指導法を習得する。
道徳教育の理論と実践	TR	必	2	有	道徳教育の意義や歴史などの理論的な基礎から、実際の学校における道徳教育についての実践的な部分までについて学ぶ。
特別活動の指導法	TR	必	2	有	「いじめ」「不登校」などが日常的に起こっている実態について具体的に考えながら、特別活動の意義、目的、内容、生徒の具体的な活動などを整理、考察していく。
教育方法	TR	必	2	有	教育における方法論的な議論のおこりから、さまざまな教育実践活動、現代の学校教育の授業の方法、そして教材や情報機器の活用について学ぶ。
生徒・進路指導論	TR	必	2	有	生徒指導の具体的な実践や理論を学ぶことを通して、教育指導をどのように行っていくかを整理し、考察する。
教育相談	TR	必	2	有	生徒指導の一環としての教育相談の意義や特徴、教育相談の基礎となる理論や技術、教育相談の事例等、学校教育における教育相談のあり方について、総合的な考察を行う。
教育実習	S	必	5		教師の仕事とはどういうものかについて、実践を通じて学ぶ。学内での事前指導スクーリングで教壇に立つための基本的事項について再確認し、模擬授業などの実践も積んだ上で、実習校で実務について体験する。
教職実践演習(中・高)	S	必	2		教職課程の総括として、教育実習での体験から各自が具体的に見出した教育に関する問題意識を共有し、講義・演習を通して課題を克服していく方法を学ぶ。また、教職課程の履修に基づき、教員となる上で各人が抱える問題点を認識し、課題に答えることでそれを補完する。

※必修区分は教員免許状取得上の要件です。

※学習用webサイト「airU」を利用するためインターネット環境の整ったパソコンが必要になります。

2、免許法施行規則第66条の6に関する科目(全科目必修)

免許法による科目区分	本学開講授業科目名	科目区分	S/T区分	単位数
日本国憲法	日本の憲法	総合教育科目	TR	2単位
情報機器の操作	情報		TR	2単位
外国語コミュニケーション	英語1A		S	1単位
	外国語1		TR	2単位
体育	体育理論		TR	2単位
	体育実技		S	1単位
必要単位数合計				10単位

※科目内容については「総合教育科目(P.45～)」をご確認ください。

※必修区分は教員免許状取得上の要件です。

科目等履修生(博物館学芸員課程)

博物館学芸員課程(科目等履修)では、「1、博物館法施行規則に定める科目(必修)」合計19単位の単位修得をもって修了です。
(ただし、資格取得には日本の学士、修士、博士いずれかの学位を有することが前提です)
また、「2、関連科目(選択)」も履修することができます。

資格取得に必要な単位数

履修科目	必修単位数	選択必修単位数
1、博物館法施行規則に定める科目	19単位	0単位
2、関連科目	0単位	10単位
履修科目単位数合計	19~27単位	

資格取得に必要な履修科目

◆ TR テキストレポート科目
 ● S スクーリング科目
 ■ WS Webスクーリング科目
 必 必修科目
 選 選択科目

※下記でご紹介する科目は2018年度開講予定のもので、一部、変更になる場合があります。

1、博物館法施行規則に定める科目(必修)

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
博物館概論	◆TR	必	2	有	博物館の歴史や種類、ならびに現代における博物館の存在意義について学びます。
博物館経営論	◆TR	必	2	有	博物館の運営について、経営的な視点から学びます。
博物館資料論	◆TR	必	2	有	博物館における資料の収集・整理・研究・還元という一連の流れを理解し、資料の効果的な活用について学びます。
博物館生涯学習概論	◆TR	必	2	有	生涯学習社会における博物館の役割について学びます。
博物館情報・メディア論	◆TR	必	2	有	博物館が発信する情報とメディアの変遷を理解し、デジタル化する社会の中でのその活用の利点と問題点について学びます。
博物館教育論	◆TR	必	2	有	社会教育機関としての博物館の教育活動の理論と実践を理解し、博物館の教育機能について学びます。
博物館実習1(事前指導)	●S	必	1		館園実習に先立ち、博物館の仕組みと全体像を理解し、その上で、美術品の取り扱いを通じ、学芸員としての基本的な心得を学びます。
博物館実習2(館園実習)	●S	必	1		学芸員の仕事を実地で学びます。
博物館実習3(事後指導)	●S	必	1		見学実習を行い、グループワークを通じて博物館の未来に対する洞察力を養います。
博物館資料保存論	◆TR	必	2	有	展示による資料の劣化を防ぐために、なおかつ良好な状態で後世に伝えてゆくために、博物館が行っている資料保存をめぐる環境整備について学びます。
博物館展示論	◆TR	必	2	有	展示の形態、展示メディアの種類、展示を通じての教育活動について理解し、展示を多角的に学びます。

※学習用Webサイト「airU」を利用するためインターネット接続環境が整ったパソコンが必要になります。

2、関連科目(選択)

科目名	S/T	必/選	単位数	履修内容
芸術史講義(日本)1	■WS	選	2	日本の造形芸術について、その成立から平安時代、鎌倉時代を中心に学びます。
芸術史講義(日本)2	■WS	選	2	日本の造形芸術について、近世および近代の絵画史などを中心に学びます。
芸術史講義(ヨーロッパ)1	■WS	選	2	ヨーロッパの造形芸術の成立からイタリア盛期ルネサンスまでの展開を理解します。
芸術史講義(ヨーロッパ)2	■WS	選	2	盛期ルネサンスから20世紀はじめまでの造形芸術の歴史を辿ります。

※学習用Webサイト「airU」を利用するためインターネット接続環境が整ったパソコンが必要になります。